

第30回

日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2015年11月

目次

1. 世界文化遺産地域における住民生活と観光動向
—和歌山県田辺市本宮町に関する統計資料からの考察—
峯俊 智穂 1
2. 世界遺産化決定後の地域と産業遺産観光
—北九州地域における「明治日本の産業革命遺産」関連施設を中心として—
濱野 健 5
3. 近代の祇園祭における祭事組織と観光について
伊藤 節子 9
4. 観光まちづくりボランティア学習プログラムの試験的運用
—活動に必要な基礎力養成を目指した学習スキームの導入と
実践を中心として—
富澤 浩樹・大西 律子 13
5. 東日本大震災被災地への教育旅行におけるボランティア活動の
持続可能性のための考察
—宮城県石巻市への2回の来訪事例から—
丸岡 泰 17
6. 日本のジオパークにおける社会・環境側面の実態評価と
政策提言のための基礎的研究
大石 直人・九里 徳泰・高橋 剛一郎 21
7. 減災と観光
—インド洋津波被災地アチェの津波観光—
齋藤 千恵 25
8. 観光地のレジリエンシー向上に向けた事業継続計画 (BCP) に関する研究
—白馬村編 Phase 1—
朝倉 はるみ 29
9. 植民地朝鮮と韓国を旅すること
—1930年代以降の植民地朝鮮旅行記を中心に—
全 永彬 33

10.	トポフィリアの涵養と醸成,あるいは場所の記憶 —千葉県浦安市のホスピタリティ・ツーリズム研究— 中沢 信一郎	37
11.	戦前松江における文化資源としての小泉八雲 工藤 泰子	41
12.	巢鴨の‘下町っぼさ’への一考察 —まちの見方と風土についての研究— 小長谷 悠紀	45
13.	ローカルコモンズの観光資源化とガバナンスに関する研究 —沖縄県本部町備瀬のフクギ屋敷林を事例として— 仲田 文子	49
14.	行政側が捉える観光まちづくりの自己評価と阻害要因 韓 準祐・四本 幸夫・畠田 展行	53
15.	観光統計による「観光まちづくりに対する自治体の自己評価」の分析と 関連観光統計の諸問題 畠田 展行・四本 幸夫・韓 準祐	57
16.	旅行形態による北海道観光の特徴に関する分析 泉澤 圭亮・中鉢 令兒	61
17.	地域社会における観光ガバナンスの実践の意義と役割 —三重県鳥羽市と北海道標津町の観光推進組織の事例から— 森重 昌之・海津 ゆりえ・内田 純一・敷田 麻実	65
18.	自然観光地における旅行者と地域住民との交流が観光意識に及ぼす影響 —福島県裏磐梯地域を事例として— 猪狩 裕海・山本 清龍	69
19.	岩手山における登山特性と事故リスク回避意識 久保 暁子・山本 清龍	73
20.	種差海岸における長距離トレイルの利用に関する来訪者の意識 坂 拓弥・山本 清龍	77
21.	観光列車における観光価値の生成過程に関する一考察 —観光列車「伊予灘ものがたり」にみる関係性の構築から— 米田 誠司	81
22.	米軍基地を抱える三沢市の地域イメージの把握を通じた 観光まちづくりの提案 松倉 杏奈・山本 清龍・ジョーンズ トマス	85
23.	世界文化遺産の構成資産「三保松原」における富士山の風景価値 大竹 芙実・山本 清龍	89
24.	高野山を訪れる外国人観光客の「物語」経験 —問題設定と中間報告— 原 一樹	93

25.	高野山をケーススタディとした聖地のデザイン特性に関する研究 花村 周寛	97
26.	観光が高める国際社会における存在感 —ネパールを事例として— 宮崎 友里	101
27.	外国人住民の言語環境としての観光 —ブラジル人集住地域の群馬県大泉町と三重県伊賀市の比較— 斎藤 敬太	105
28.	観光目的地内の空間特性と観光活動内容の関連性に関する研究 —沖縄県那覇市国際通り周辺を対象に— 上原 明・飯島 祥二・直井 岳人・伊良皆 啓	109
29.	那覇市国際通りの観光地化に伴う空間変容に関する研究 崎浜 由加利・波多野 想	113
30.	企画部門が担当する観光計画策定体制のあり方 —宮城県松島町を例として— 後藤 健太郎	117
31.	意思決定主体の違いによるコンフリクトの差異 —KH Coder を用いた旅行体験談の計量的内容分析— 豊田 紗綾	121
32.	現代資本主義市場経済の問題に対する観光の役割 —市場経済化されていない部分が残る領域の拡大を目指して— 金子 和浩	125
33.	海外旅行の阻害要因知覚における家族ライフサイクルの影響 中村 哲	129
34.	半構造化面接からみた休暇が企業に及ぼす効果 山口 一美・岡田 美奈子・小口 孝司	133
35.	アイランドツーリズムの担い手に関する研究 —長崎県小値賀町を事例に— 深見 聡・山田 有沙子・金 成恩	137
36.	地方自治体における長期滞在者の滞在と観光振興に関する研究 —上士幌町の体験移住を事例として— 千葉 里美	141
37.	韓国・慶尚南道南海島文巷集落における体験観光の運営 鄭 玉姫	145
38.	島の観光空間を維持・創生するボランティア・ツーリズムの課題 フंक カロリン・宮本 雄介・張 楠	149
39.	農村における都市との交流施策の動向 —市町村アンケート調査の結果より— 小山 環・十代田 朗・津々見 崇	153

40.	茶の生産地におけるティーリズムの特徴について 吉見 淳代・花村 周寛	157
41.	大宜味村における観光事業の取り組みの現状と課題 —体験・交流型観光を中心として— 柳 銀珠・鈴木 富之・朴 在徳	161
42.	農山村地域の衰退と「都市農村交流」の可能性と限界 —秩父市大滝地区の事例— 山田 耕生	165
43.	職業・社会体験施設“キッザニア”の金融教育を目的とした活用について —体験前後の小学生の調査・分析から見た効果検証— 関口 陽介・秋山 和子・松川 誠一	169
44.	観光を題材とした地域志向型教育の展開に関する考察 —名古屋学院大学の地（知）の拠点事業を事例として— 田中 智麻	173
45.	大学教育における観光基軸の国際人材育成に関する一考察 —海外就業体験・中央大学国際観光コースの事例から— 千葉 千枝子	177
46.	観光教育における反転授業の導入 —「観光地理」の講義を題材に— 有馬 貴之・加藤 大	181
47.	観光立国日本におけるおもてなしのあり方についての一考察 —訪日外国人への日本のサービスに関するアンケート調査を中心として— 和田 早代	185
48.	着地型観光組織と価値連鎖（バリューチェーン）の考察 —和歌山県秋津野ガルテンの事例から— 近藤 政幸	189
49.	観光客の吸引に向けたお土産品の活用 —観光庁「究極のお土産」の視点— 橋元 理恵	193
50.	観光土産のコモディティ化 —月餅を中心に— 羽生 敦子・舩谷 鋭	197
51.	スケルトン型商品の限界におけるパッケージツアーの製品アーキテクチャの ダイナミズム 野口 洋平	201
52.	インバウンド富裕層顧客をターゲットとした 百貨店とラグジュアリーホテルの関係構築事例に関する一考察 大熊 美音子	205

53.	劇場としての旅館 —従業員の仕事を支える情報と場に着目した考察— 大野 富彦	209
54.	欧米にみる Airbnb の広がり規制 富川 久美子	213
55.	公的データにみる宿泊業の労働生産性向上の可能性 —鍵を握る小規模事業者のイノベーション— 井門 隆夫	217
56.	訪日外客の 47 都道府県の訪問パターン分析 古屋 秀樹・劉 瑜娟	221
57.	軌道交通の乗車システムの差異による言語表記の課題 —札幌市を事例として— 郭 倩	225
58.	歴史的に見た「道の駅」とその機能の変遷 —観光・産業・福祉・医療・防災、小さな経済循環が生まれる地域の核— 篠原 靖	229
59.	地域交通網とインバウンド観光客の満足度に関する研究 —長野 NINJA プロジェクトの調査結果から— ジョーンズ トマス	233
60.	パウダースノーの資源性に関する研究 —指標化による客観的評価の試み— 細川 俊介	237
61.	リスク関連情報に対する登山者の対応にみられた山岳地域間の相違 小林 昭裕・ジョーンズ トマス	241
62.	日本とロシアの自然風景におけるエキゾチック —日露共同研究の成果— 青木 陽二・ペトロワ エレーナ・松島 肇・中谷 昌弘	245
63.	日本の旅行業の環境配慮活動と持続可能な観光 —実態と展望— 九里 徳泰	249
64.	観光画像に含まれる人の特徴 —観光者か地元住民かの差異に着目して— 小川 真弘・直井 岳人	253
65.	映画に見る大阪都心部イメージの特質の観光的考察 藤谷 律代・花村 周寛	257
66.	観光ガイドブックの写真掲載頻度による長崎市の観光空間の再編成 山口 太郎	261
67.	日本と外国のガイドブックから見る横浜地域の観光対象に関する研究 正木 聡	265

68.	昭和 10 (1935) 年～昭和 14 (1939) 年『全国観光祭』 一島根・松江の場合―「観光事業の国策化」に呼応して― 有馬 誉夫	269
69.	沖縄における医療ツーリズム、国際医療交流の取り組み 孫 影・荒川 雅志・高橋 伸佳・友利 直子	273
70.	台湾のサイクルツーリズムの取り組みと消費特性についての考察 辻本 千春	277
71.	ファンツーリズムの実態 ―アイドルファンへの聞き取り調査から― 幸田 麻里子・臺 純子・崔 錦珍	281
72.	ニューツーリズムの観光動機 ―高野山の外国人観光客研究へのアプローチとして― 尾家 建生	285
73.	リゾート施設のストックとしての可能性に関する一考察 ―ツインタワー石打を事例に― 佐野 浩祥	289
74.	商業施設を通してみる九份の観光地化に伴う空間変容の研究 伊藤 空・波多野 想	293
75.	ギリシャ・キクラデス諸島における伝統的集落保存と観光資源化 ―「1978 年法」と「1989 年法」の比較考察― 石本 東生・江口 久美・岡村 祐	297
76.	先住民観光における博物館と地域コミュニティの協働の可能性 ―二風谷アイヌの事例から― 須永 和博	301
77.	アートプロジェクトにおける来場者評価プロセス ―第 2 回貝塚まちなかアートミュージアムにおける来場者調査を中心に― 米田 晶	305
78.	DMO に着目した研究の進展状況 ―効果的なデスティネーション・マネジメントに関する研究動向のレビュー― 野瀬 元子	309
79.	地域ブランディングのあり方とツーリズムの意義に関する一考察 桃井 謙祐	313
80.	地方都市における創造産業としての観光振興と DMO ―米国パデューカ市のクリエイティブツーリズムの事例― 敷田 麻実・内田 奈芳美	317
81.	東日本大震災後の大船渡市児童の外遊びと下校の実態に関する 基礎的研究 西 大基・山本 清龍	321

82.	福島県北塩原村における風評被害に関する住民意識の類型化 —観光の風評被害克服に向けて— 相澤 孝文・橋本 俊哉	325
83.	戦争の経験と VFR —日本とアジア太平洋地域との関係— 永井 孝充	329
84.	世界初のダークツーリズム専門雑誌の創刊について —Dark tourism Japan は如何にして作られ、受け入れられたか— 井出 明	333
85.	イスラーム圏からの観光客誘致におけるローカルハラール認証の考察 —ハラームの見地から考えるハラール認証— 杉山 維彦	337
86.	訪日ムスリム観光客のためのハラール認証についての考察 —ハラール認証の種別的分析— 林 良隆	341
87.	アジア四カ国のムスリム対応レストランをめぐる状況の比較 —イスラーム地域研究の視点から— 福島 康博・砂井 紫里	345
88.	取引コストの可視化・縮減機能としてのハラール・コンサルタント —ハラール概念の暗黙知と形式知をめぐるイスラーム地域研究の 視点からの一考察— 安田 慎	349
89.	観光案内所による地方創生の考察 —大阪南部泉州地域を事例として— 保井 太郎	353
90.	外国人観光客接遇にみられる言語マネジメントについて —石垣市を事例として— 山川 和彦	357
91.	検索キーワード広告のオンライン集客効果の考察 —広告グループの掲載結果の比較から— 山本 真嗣	361
92.	位置ゲームと観光振興 —インGRESを例として— 宮武 清志	365

ポスターセッション (2015 年 5 月 30 日 (土) 発表)

1. ロンドン五輪開催をめぐる「レガシー」の再検討、 および観光・ツーリズムへの意義の考察 小澤 考人・野田 恵子	369
2. リゾートにおける対人サービスが顧客満足、ロイヤルティ行動に及ぼす影響 山口 一美・小口 孝司	371
3. 日本のミーティングプランナーにおける開催地選択基準に関する研究 岩本 英和・原 忠之	373
4. ジオパークの社会・環境側面における実態評価と政策提言 大石 直人・九里 徳泰	375
5. 旅館の品質評価基準及び運営管理システムの構築に向けた発芽的研究 —SAKURA QUALITY を事例として— 金 振晩	377
全国大会研究発表論文募集要項	379
日本観光研究学会ポスターセッション募集要項	382
全国大会研究発表論文集投稿規程	384